

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(40歳代女性)ありました。症状は腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐及び発熱です。感染地域は国内、感染経路は経口です。本年の累積報告数は32例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- デング熱の報告が1例(50歳代女性)あり、症状は発熱及び発疹です。感染地域は国外(フィリピン)で、感染経路は蚊です。本年の累積報告数は5例となりました。
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が2例(50歳代男性2例)(第32週追加報告分)ありました。ともに症状は発熱、咳嗽及び肺炎等で、感染地域は国内です。本年の累積報告数は20例となりました。
レジオネラ症は、レジオネラ属菌を含むエアロゾルや塵埃を吸入することにより発症する細菌感染症で、感染源となる設備に24時間風呂などの循環式浴槽、冷却塔、給湯設備、加湿器、噴水などがあります。特にこれらの設備の配管内部の「ぬめり」がレジオネラ属菌を含め細菌の温床となるため、注意が必要です。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(90歳代女性1例)ありました。症状は肺炎で、感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は23例となりました。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が2例(70歳代及び80歳代男性)(第32週追加報告分含む)あり、ともに症状は発熱及び菌血症等です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は7例となりました。
- 百日咳の報告が1例(10歳未満男性)ありました。症状は持続する咳で、感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は83例となりました。

◆ 今週のトピックス: <侵襲性インフルエンザ菌感染症>

京都市の侵襲性インフルエンザ菌感染症は第33週に1例の報告があり、本年累積報告数は7例となりました。2013年4月1日に5類全数把握疾患に追加されて以降の累積報告数は38例となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 6例(肺結核 4例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 194例(肺結核 84例, その他結核48例, 潜在性結核感染者 62例)うち喀痰塗抹陽性 40例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 32例】
- 四類: デング熱 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- 四類: レジオネラ症 2例【1月以降の累積報告数 20例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 23例】
- 五類: 侵襲性インフルエンザ菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 7例】
- 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 83例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

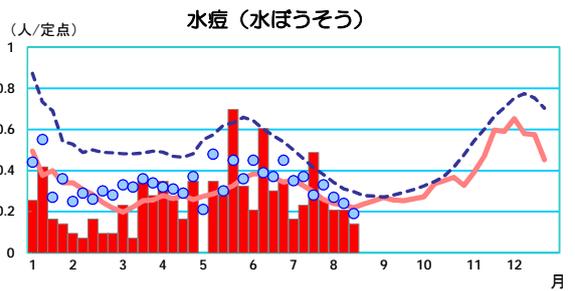
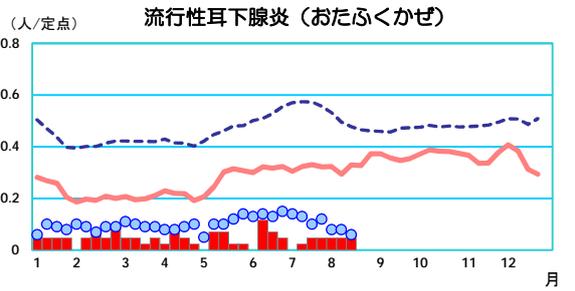
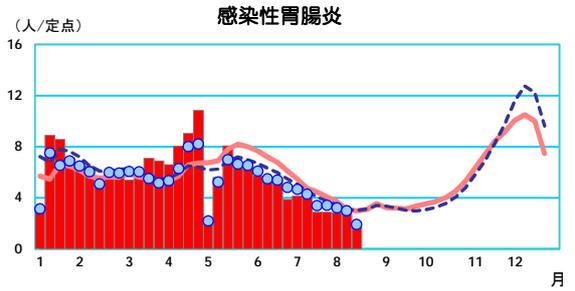
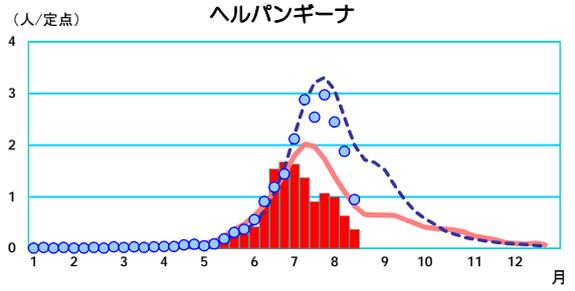
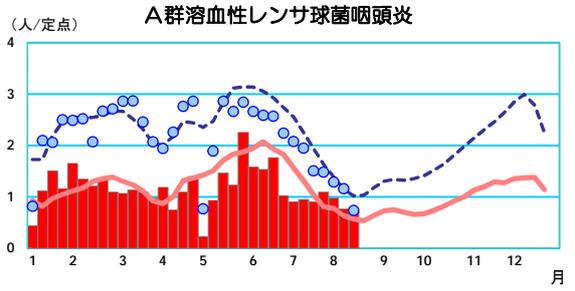
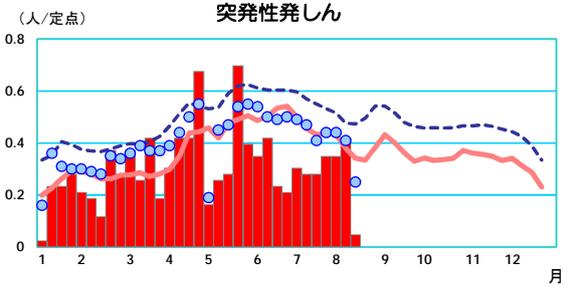
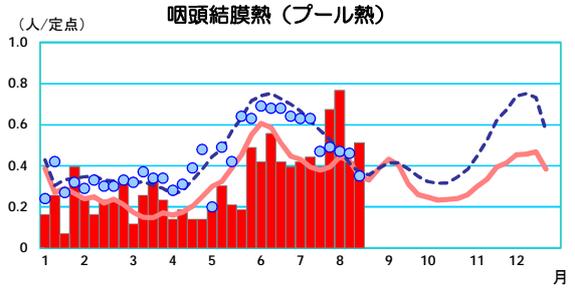
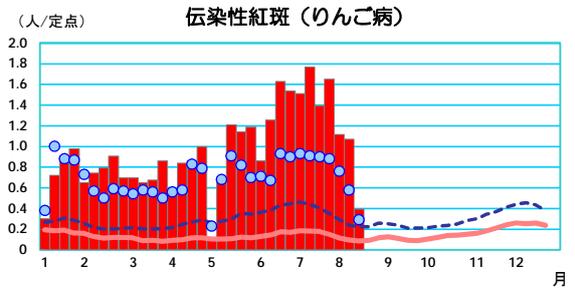
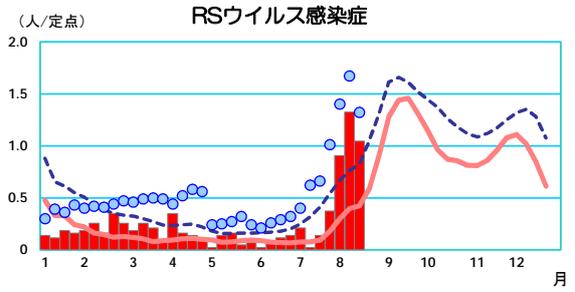
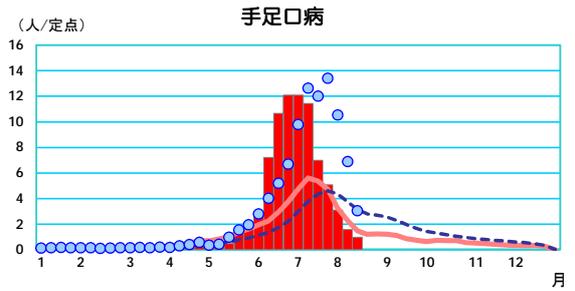
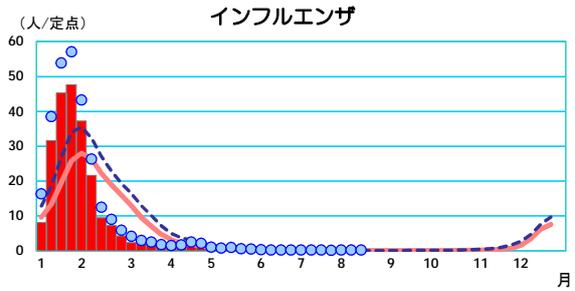
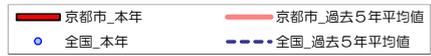
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.14	10
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.70	73
	② RSウイルス感染症	1.05	45
	③ 手足口病	0.98	42
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.72	31
	⑤ 咽頭結膜熱	0.51	22
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <侵襲性インフルエンザ菌感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年8月21日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第33週(8月12日～8月18日)トピックス:<侵襲性インフルエンザ菌感染症>

京都市の侵襲性インフルエンザ菌感染症は第33週に1例の報告があり、本年累積報告数は7例となりました。2013年4月1日に5類全数把握疾患に追加されて以降の累積報告数は38例となっています(表1)。

京都市のみでは症例数が少なく経年的な傾向はわかりにくいですが、全国を見ると、報告数は年々増加していることがわかります。昨年は集計を取り始めて以来最も多く488例が報告されました。本年もすでに380例が報告されており、昨年同時期を上回って推移しています。(表1及び図1)。

男女別構成割合では、各年で男性が54.2%から65.7%、女性が34.3%から45.8%と、男性がやや多い傾向があります(表1)。

全国の2013年から2019年第33週までの報告数合計2,112例を年齢階級別でみると、最も多いのは70歳以上で58.2%と6割近くを占め、次いで60歳代が12.7%で、60歳以上で全体の7割を超えています。一方、0歳が4.3%、1～4歳が7.1%で4歳までで1割以上となっており、4歳以下の低年齢層と60歳以上の比較的高年齢層で報告数が多くなっています(図2)。

本疾患はインフルエンザ菌による感染症のうち、菌血症、菌血症を伴う肺炎、髄膜炎を主症状とする侵襲性感染症(本来無菌的な部位に菌が侵入することで起こる疾患)です。5歳未満の乳幼児では成人に比べ、髄膜炎を発症することが多く、この場合、死亡率は3～6%、聴力障害を含む後遺症が約20%に残るとされています。このため、乳幼児に対して、インフルエンザ菌の中でも、最も病原性が高いb型(ヒブ)に対するワクチンが2013年4月から定期接種化されました。標準的なスケジュールは、生後2箇月から6箇月までに初回を開始し、合計4回接種します。ワクチン接種により重篤な症状を引き起こすリスクを95%以上減らすことができるとされています。詳細は下記ホームページを参照して下さい。

○京都市情報館「京都市が実施する定期的予防接種について(子どもの予防接種/協力医療機関検索はこちら)」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>

表1 京都市及び全国の報告数の推移

		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019 (第33週まで)
京都市	男	0	3	5	6	1	3	5
	女	2	0	1	4	2	4	2
	合計	2	3	6	10	3	7	7
全国 (カッコ内は男女別割合)	男	71 (65.7%)	113 (56.5%)	154 (61.1%)	186 (59.6%)	221 (59.4%)	276 (56.6%)	206 (54.2%)
	女	37 (34.3%)	87 (43.5%)	98 (38.9%)	126 (40.4%)	151 (40.6%)	212 (43.4%)	174 (45.8%)
	合計	108	200	252	312	372	488	380

図1 全国の累積報告数(2013年～2019年第33週)

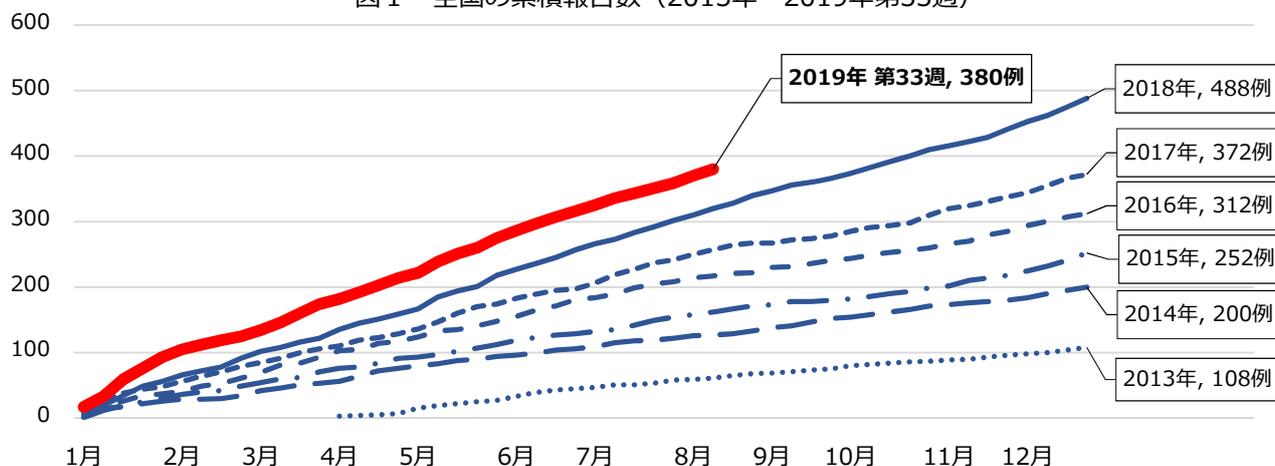
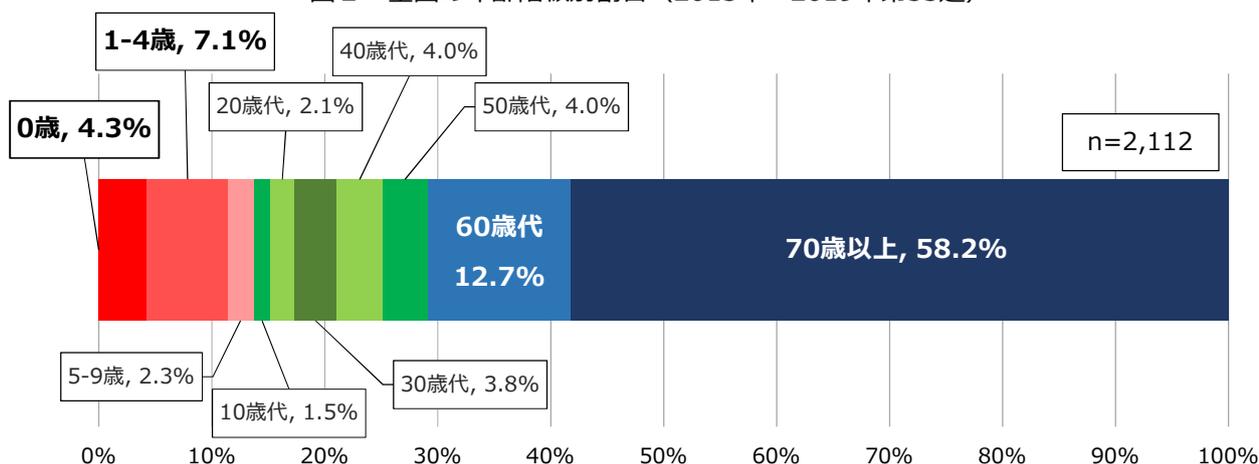


図2 全国の年齢階級別割合(2013年～2019年第33週)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第33週

疾病,行政区別報告数

2019年8月12日～2019年8月18日

データ入手日:2019年8月21日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	1	1	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-						
上京	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	1	1	-	1	-	-	2	-	-	-						
中京	1	1	1	2	2	-	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	6	4	-	-	17	-	1	-	1	-	-	-	-						
山科	-	8	-	1	-	-	3	1	-	1	-	-	-						
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1	-	4	-	-	2	2	2	1	3	-	-	-						
右京	1	15	11	18	13	1	6	4	-	1	-	-	-						
伏見	-	12	5	6	38	1	18	4	-	3	2	-	-						
西京	-	4	1	1	1	2	4	3	-	5	-	-	-						
京都市計	10	45	22	31	73	6	42	17	2	16	2	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	0.14	0.25	-	0.50	-	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-						
上京	-	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	0.25	0.25	-	0.25	-	-	0.50	-	-	-						
中京	0.20	0.33	0.33	0.67	0.67	-	2.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2.00	2.00	-	-	8.50	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-						
山科	-	1.60	-	0.20	-	-	0.60	0.20	-	0.20	-	-	-						
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.20	-	1.33	-	-	0.67	0.67	0.67	0.33	1.00	-	-	-						
右京	0.13	3.00	2.20	3.60	2.60	0.20	1.20	0.80	-	0.20	-	-	-						
伏見	-	1.71	0.71	0.86	5.43	0.14	2.57	0.57	-	0.43	0.29	-	-						
西京	-	0.80	0.20	0.20	0.20	0.40	0.80	0.60	-	1.00	-	-	-						
京都市計	0.14	1.05	0.51	0.72	1.70	0.14	0.98	0.40	0.05	0.37	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第33週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年8月12日～2019年8月18日

データ入手日:2019年8月21日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	60歳-	70歳以上						
インフルエンザ (※1)	年齢1	10	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	1	1	-
RSウイルス感染症	年齢3	45	2	10	21	9	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		22	-	-	4	4	6	4	1	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		31	-	-	2	1	2	8	2	5	5	-	1	2	1	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		73	1	6	14	13	8	3	3	6	3	3	2	5	1	5	-	-	-	-	-	-
水痘		6	-	-	1	-	-	1	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		42	1	2	10	8	8	2	2	3	1	-	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		17	-	1	-	-	5	1	2	3	-	3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		16	-	1	3	5	1	2	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.14	-	-	0.01	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	0.01	0.04	0.01	0.01	-
RSウイルス感染症	年齢3	1.05	0.05	0.23	0.49	0.21	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.51	-	-	0.09	0.09	0.14	0.09	0.02	-	0.02	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.72	-	-	0.05	0.02	0.05	0.19	0.05	0.12	0.12	-	0.02	0.05	0.02	0.05	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		1.70	0.02	0.14	0.33	0.30	0.19	0.07	0.07	0.14	0.07	0.07	0.05	0.12	0.02	0.12	-	-	-	-	-	
水痘		0.14	-	-	0.02	-	-	0.02	0.02	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.98	0.02	0.05	0.23	0.19	0.19	0.05	0.05	0.07	0.02	-	0.02	0.02	-	0.07	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.40	-	0.02	-	-	0.12	0.02	0.05	0.07	-	0.07	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.37	-	0.02	0.07	0.12	0.02	0.05	0.02	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第33週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年8月21日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	3	6	8	12	10	10
RSウイルス感染症	1	6	16	39	58	45
咽頭結膜熱	19	17	29	33	25	22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	39	47	42	37	31
感染性胃腸炎	182	124	124	122	135	73
水痘	10	21	11	9	9	6
手足口病	492	301	218	133	79	42
伝染性紅斑	76	60	71	48	49	17
突発性発しん	12	12	15	15	21	2
ヘルパンギーナ	59	39	46	43	29	16
流行性耳下腺炎	1	2	2	2	2	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	6	7	3	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	902	627	593	505	457	266

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.04	0.09	0.12	0.17	0.14	0.14
RSウイルス感染症	0.02	0.14	0.37	0.91	1.35	1.05
咽頭結膜熱	0.44	0.40	0.67	0.77	0.58	0.51
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.95	0.91	1.09	0.98	0.86	0.72
感染性胃腸炎	4.23	2.88	2.88	2.84	3.14	1.70
水痘	0.23	0.49	0.26	0.21	0.21	0.14
手足口病	11.44	7.00	5.07	3.09	1.84	0.98
伝染性紅斑	1.77	1.40	1.65	1.12	1.14	0.40
突発性発しん	0.28	0.28	0.35	0.35	0.49	0.05
ヘルパンギーナ	1.37	0.91	1.07	1.00	0.67	0.37
流行性耳下腺炎	0.02	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.60	-	0.60	0.70	0.30	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	21.41	14.53	14.18	12.18	10.77	6.10

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。